

平成30年度 図書館教育 全体計画

学校教育目標

豊かな人間性と自主的精神に満ちた生徒を育てる

- ・感性豊かに表現する態度を育てる。
- ・学ぶ意欲を持ち、主体的に行動する態度を育てる。
- ・より良い集団をめざして繋がる態度を育てる。
- ・たくましい心身を持ち、やり抜く態度を育てる。
- ・将来の夢や目標を持ち、その実現に向かって努力する態度を育てる。
- ・社会のために貢献しようとする態度を育てる。

めざす生徒像

人と人との関わりを大切にし、より良い集団をめざしてつながる生徒
 自ら学ぶ意欲をもち、主体的に行動する生徒
 たくましい心身をもち、やり抜く生徒
 将来の夢や目標をもち、その実現に向かって努力する生徒

図書館教育目標

自ら学び、心豊かに生きる生徒を育てる学校図書館
 ～進んで本を読み、利用することのできる生徒の育成～

平成30年度重点目標

読書指導

- ・読書に対する興味、関心、意欲を高め、感じる心・考える力を培う読書活動を促す。

利用指導

- ・様々な学習活動での利用を促すとともに、望ましい活用の態度と方法の定着を図る。

実践の場と具体的指導内容

教科	道徳、特別活動、総合的な学習	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・読解指導とあわせて、読書に親しみ豊かな心情を育む読書指導を行う。(国語科) ・読書教材を発展させ、より良い読書習慣を形成する態度を養う。(国語科) ・米英小説の翻訳や絵本の原文を紹介することによって、読書意欲を喚起し、幅広い読書生活へと導いていく。(英語科) ・文献資料の参照や発展的な調べ学習、直接経験を補う知識を得るための、図書の活用を促す。(社会科・理科) ・読書感想画に取り組む。(美術科) ・百科辞典等各種辞典類、図鑑、年鑑を積極的に活用し、知識を豊かにするとともに利用の仕方に慣れる。(各教科) ・学習課題を解決するために必要な資料や情報の利用に関する知識・技能・態度の育成を図る。(各教科) 	<ul style="list-style-type: none"> ・短編小説・エッセイ・伝記を、読み聞かせや集団での話し合いの資料として活用し、道徳的心情を豊かにする。 ・学校図書館の利用に関する指導とあわせて公共図書館等の利用指導も行うことで、様々な文化施設の良き利用者となるための知識の習得ならびにマナーの定着を図る。 ・図書館の蔵書、施設、設備の利用に関する指導を通して、公共物を大切にする社会的態度を養う。 ・文化委員会が図書館の機能並びに活動を各学級に伝えると同時に、各学級の読書に関する要求を実現させる役割を果たすような活動を工夫する。 ・総合的な学習の実践において、学校図書館の資料を積極的に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書への取り組みを通して、継続的な読書習慣の定着を図る。 ・新刊図書の紹介を工夫し、読書意欲を喚起する。 ・より良い読書習慣が形成されるよう、学校生活の様々な場面で、適切な指導を行う。 ・図書館の資料を充実整備するとともに、学習の場としての利用を促すための環境を整える。 ・蔵書点検を定期的に行い、図書の整備と管理を徹底することで、利用マナーの向上と読書空間の充実に努める。 ・生徒、教職員の読書ニーズの把握に努め、積極的な利用を促す。